

1. 「おりひめ 木曽川が織りなす水」の販売

「おりひめ」は、一宮市佐千原にある佐千原浄水場から取水した水道水を加熱殺菌し、アルミボトル缶に詰めたボトルドウォーターです。

製造から5年間の長期保存ができ、地震などの大規模災害に備えるため、各ご家庭の災害用飲料水として備蓄を促進するため販売をしています。

2024年度は、環境への負荷が少ないアルミボトル缶に変えて製造をしました。デザインは、竜神をメインに、一宮市を代表するツインアーチ138と一宮七夕祭りの吹き流しなどが描かれています。



佐千原浄水場での採水現場



委託製造による充填工程



2024年版
「おりひめ 木曽川が織りなす水」

2. 防災知識の普及啓発活動

広く一般の方々へ、大規模災害での上下水道に関する知識を普及啓発するため、イオンモール木曽川防災展へ出展しました。水道では非常用給水袋の展示や、飲料水の備蓄を呼びかけるパネルの展示を行い、下水道ではマンホールトイレの展示などを行いました。

また、能登半島地震での上下水道部の支援活動を紹介するパネル展示を行いました。

今後も、1人でも多くの方へご理解いただけるよう、上下水道部は防災の取組について啓発活動を続けていきます。



給水袋やマンホールトイレなどの展示



能登半島地震における支援活動を紹介するパネルの展示

3. 上下水道部広報誌の発行

上下水道利用者のみなさまに、事業の内容など知っていただきたい情報を、年3回発行の広報誌「水de報（みずでっぽう）」でお知らせしています。



上下水道部広報誌「水de報」
市ウェブサイト



上下水道部広報誌「水de報（みずでっぽう）」

4. マンホールカードの作製

市内外の方々に一宮市の下水道の魅力を広く知っていただき、観光の活性化をはかるため、マンホール蓋のカードを制作し、お一人様1枚の手渡しで、尾張一宮駅前ビル（i-ビル）6階、一宮市立中央図書館の窓口で配布しています。



一宮市の「市章」と市の花の「キキョウ」を
組み合わせたマンホールカード

5. 小学生がデザインしたマンホールプレートの設置

将来を担う子供たちに下水道をより身近に感じてもらえるよう、2023年度に上下水道部が出張授業を行った小学校10校（小学4年から6年生）を対象に、「あなたの好きな一宮」をテーマに「下水マンホール蓋デザイン」の作品募集を行いました。総数588作品の応募があり審査の結果、各学校の優秀作品を決定し、優秀作品は下水マンホール蓋（デザインプレート）を製作し、各小学校区内の歩道に設置しました。



市役所での展示の様子



歩道に設置した様子

6. 2024いちのみやリバーサイドフェスティバルへの出展

上下水道事業のPRとして、2024年5月3日（金）から5月5日（日）に開催した2024いちのみやリバーサイドフェスティバルへ出展し、上下水道に関する各事業を紹介するため、ポスターやパネル、給水車の展示を行いました。

上下水道ブースではクイズやスマートボールゲームを行い、来場者に「いちっぷ」や「マンホール」がプリントされた缶マグネットを配布するなど、多くの方が楽しみながら上下水道について学ぶことができました。

給水車ブースでは、給水袋を使った給水体験を行いました。また、能登半島地震における給水車派遣などの支援活動や、飲料水の備蓄に関するパネルを展示し、災害への備えの重要性を知っていただきました。



上下水道ブース（138タワーパーク内）



スマートボール



上下水道クイズ



給水車の展示及び給水体験

7. 市内各所で下水道のPR

下水道への早期接続をPRするため、「下水道の日」において、i-ビル3階 シビックテラス及び西部浄化センターのほか、千秋町出張所や浅野公園東の信号にある歩道橋に横断幕を掲示し、また、i-ビルのコンコース及び市役所本庁舎等に広報用ディスプレイの放映をして啓発活動を行っています。



西部浄化センター



千秋町出張所

8. 出張授業の実施

市内小学校（11校）の小学4年生を対象に、上下水道に関する出張授業を実施しています。

生活に必要な水がどのように作られるのか、また、安心・安全な水を届けるための水道の仕組みや必要性を学びました。また、身近な食材を利用して家庭からの排水の汚れ具合の実験を行い、下水道の仕組みや下水処理場の役割を学びました。

また、この模様をICC（ケーブルテレビ）が取材をし、後日、同チャンネルの「街ネタプラス」内で放映がされました。

授業を終えた後には各学校へアンケートを行っており、

- ・「今まで「水」について学んだ全てが凝縮されたような分かりやすい授業でした。」
- ・「実験が楽しかったようでもっとやりたがっていた。」

など概ね好評な声をいただきましたが、

- ・「難しい言葉がわかりづらかった」
- ・「実験手順が絵や言葉で説明されているような紙があるとありがたい。」

などの意見もありました。

今よりも楽しく、分かりやすい授業となるよう毎年見直しを行い、たくさんの子供たちに上下水道について知ってもらえるよう今後も出張授業を続けていきます。



授業風景①



授業風景②



授業風景③



ICC（ケーブルテレビ）の取材風景

9. 上下水道施設の見学バスツアー

上下水道施設である佐千原浄水場や東部浄化センターといった重要な施設を見学してもらい、ライフラインの維持管理の重要性や、施設を持続させるために多額の費用が必要であることを知っていただき、上下水道事業への理解を深めてもらうことを目的とした見学を行いました。

- 開催日時 2024年11月2日(土) 9:30~16:00
- 見学施設 佐千原浄水場、東部浄化センター
- 対象 市内在住の小学生と保護者
- 参加人数 12組32名



給水袋体験(応急給水訓練)



佐千原浄水場ポンプ棟ポンプ室



微生物観察



ペットボトル詰り実験

●参加者の声（一部抜粋）

Q:施設のどんなところに興味を持たれましたか？

A:反応槽の見学、トイレットペーパー溶解実験

A:塩素濃度を測定する体験が楽しかったようです。まだ、小学3年生なので、自分でやってみる、体験することが楽しいみたいです。

Q: 施設見学について、ご意見・ご希望・ご感想があれば入力をお願いします。

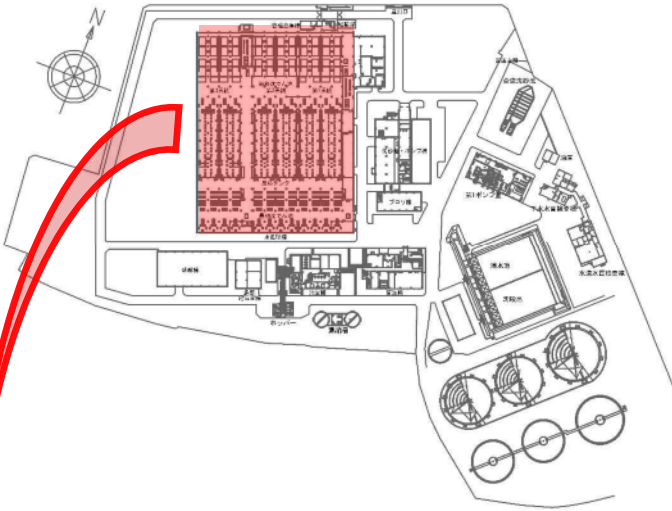
A:娘たちも楽しく学ぶことができて、来年も行きたいと言っています。雨で歩けなかった場所にも入れるといいなと思います。ありがとうございました。

A:水道から水がでて、川に流れるまでが良く分かりました。当たり前を使う水を大切に使用しようと改めて感じました。そこで、働いている方達にも感謝です。子どもも良い体験や学びができました。

11. 下水道施設見学

一宮市の生涯学習の一環として、上下水道部では「浄化センター施設見学」を行っており、職員が施設を案内・解説します。申し込みは東部浄化センターで受け付けており、小学校の社会見学などにも利用していただいています。

●施設見学



東部浄化センター 平面図



浄化センターの仕組みの説明

①浄化センターの仕組みについて、フロー図の書かれたパネルを使って説明します。処理場に入ってくる汚水や川に放流する水を採水し、きれいになっていることを目で感じてもらいます。



反応タンク内の観察

②最初沈でん池、反応タンク、最終沈でん池、消毒設備を水の流れに沿って、それぞれの役割について説明します。



微生物の観察

③反応タンクで汚れをきれいになっている微生物を顕微鏡を使ってもらいます。